



伝承活動に力を注いだ故・照井幸男さん(1992年)

1971年、伝統芸能の灯を絶やさない地域青年たちが立ち上がり、かつての舞い手から神楽を伝授して「達谷神楽保存会」を結成し、神楽の奉納を再

伝統の灯を絶やさない地域青年たちが神楽を再開

戦時中の舞い手不足、戦後の混乱により神楽の活動が停止。明治から大正にかけては、近隣の神楽の舞い手がたびたび達谷地区を訪れて芸を習得したとされており、南部神楽の成立に際して達谷神楽が果たした役割は大きなものだった。達谷地区には、第二次世界大戦までは二つの神楽組があり、達谷窟毘沙門堂の例祭には競って演じていたが、戦時中の舞い手不足、戦後の混乱によってその活動は停止してしまっ

開した。しかし社会情勢の変化もあり、達谷神楽保存会は10年続かず再び活動を停止することとなってしまった。子どもたちへの伝承をきっかけに達谷神楽が活性化

「達谷神楽がこれで途絶えてしまつていいのか」「伝統芸能を何とかして後世に伝えなくては」という想いから、故・照井幸男さん(4区)が旗揚げ役となり、86年に地区の幼稚園児を対象に神楽舞の基本となる「御神楽」の伝承を行った。この背景には、神楽を舞う若者たちの減少や舞い手の高齢化などがあり、「伝統芸能を地域に根付かせるためには、子どもたちへの伝承活動こそ大切」という考えがあったからである。結果、子どもたちの神楽への関心が高まり、伝承への明るい展望が見えたという。87年には「達谷窟毘沙門神楽」と改称し、地区の幼稚園児たちに本格的に伝承活動を開始。そして子どもたちの神楽を見てもらううちに神楽に興味を持った母親たちが、娯楽と健康維持を目的に88年に婦人神楽を発足。94年には若妻神楽が誕生するなど、子どもたちへの伝承をきっかけに達谷神楽が再びにぎわいを見せることとなった。



盛岡市にて「母情甲冑堂」を披露(2008年)



平泉駅前で「くずし舞」を披露(2009年)



アメリカ合衆国ニューヨーク市で開催されたイベントに出演した際のポスター(1995年)。達谷窟毘沙門神楽は国内だけでなく、ブラジルやハワイなど海外公演も多数経験している。



毘沙門堂前で神楽を舞う幼稚園児(1986年)



達谷窟毘沙門神楽のメンバー(1994年)

【特集】達谷窟毘沙門神楽—伝統を紡ぐ人々—

各イベントへの出演、郷土芸能体験講座による生徒たちへの伝承などさまざまな活動を続けている達谷窟毘沙門神楽の軌跡を通じて、今号では郷土芸能の価値、魅力を再発見し、郷土芸能を次世代に残す道筋を探る。



「羽衣」を披露する達谷窟毘沙門神楽(1992年)

第1章

達谷窟毘沙門神楽

県内屈指の古い歴史を持つ芸能

神楽は日本古来の伝統芸能であり、岩手県南部、宮城県北部一帯にかけては南部神楽が広く行われ、昔から常に私たちの身近にあった。最盛期には数多くの神楽が存在していたが、現在では伝承者の高齢化や後継者の確保が困難となり、活動の危機に瀕している団体もある。そのような状況の中、活発な活動を続けているのが達谷窟毘沙門神楽だ。県内屈指の古い芸能とされる同神楽の歴史を追う。

南部神楽に変化していった達谷窟毘沙門堂の奉納神楽

平泉町の達谷地区に伝わる達谷神楽は、江戸時代、達谷村の鎮守だった達谷窟毘沙門堂の奉納神楽として、達谷西光寺脇院で羽黒派修験學院により、厳格なる神事として舞われてきた。

達谷窟毘沙門堂の奉納神楽の歴史は古く、達谷西光寺に伝わる獅子頭が室町時代の作と思われることから、中世にさかのぼる県内屈指の古い芸能とされている。

明治維新で修験道(※1)は廃止されたが、達谷神楽は地域の人々によって伝えられ、ますますにぎわいを見せることとなった。そうした中、伝統的な修験道

の舞いは廃れていき、民話や伝説を題材に加えたり、物語性を持たせてせりふをうたいながら舞うなど、より演劇的要素の強い芸能、いわゆる南部神楽に変化していったのである。



達谷窟毘沙門堂

(※1)神霊の宿る山岳に籠り、厳しい修業を行うことにより、悟りを得ることを目的とする日本古来の山岳信仰が仏教に取り入れられた日本独特の宗教。

南部神楽には人を引きつける魅力がたくさんある

南部神楽の特徴は「演劇的要素の強さ」です。南部神楽には従来の鶏舞などの式舞に加えて、地域の歴史物語に関する演目がたくさんあります。人情味あふれるストーリーが多いため、見ている人はとても感情移入しやすいと思います。また民謡調の歌、躍動感のある舞い、太鼓のリズムなど南部神楽には人を引きつける魅力がたくさんあります。

voice



平泉文化遺産センター 千葉 信胤 館長

《Profile》2000年～02年に南部神楽情報誌「かぐらの『わ』」の編集執筆を手掛ける。

町では町指定文化財(無形民俗文化財)として、4団体の郷土芸能を指定している。

町指定文化財(無形民俗文化財)

名称	所在地	指定年月日
田頭讀念仏	長島宇田頭	1982年4月10日
行山流長部長鹿踊り	長島字竜ヶ坂・生江田	1982年4月10日
達谷窟毘沙門神楽	平泉字北沢	2001年11月1日
長部神楽	長島字砂子沢	2001年11月1日